

期待膨らむ“熊本港クルーズ新時代”



▲熊本港に停泊中の「にっぽん丸」。2泊3日のツアーへの出発を待つ



▲「にっぽん丸」出港式典であいさつする幸山政史熊本市長（熊本港ポートセールス協議会長）



▲「ばしふいっくびいなす」を見送るイベントで演舞を披露する熊本城おもてなし武將隊



多くの人に見送られ出港する「にっぽん丸」。熊本港初の大型クルーズ船就航となった

「にっぽん丸」「ばしふいっくびいなす」が初入港
 熊本港に、大型クルーズ船の入港が相次いでいる。同港は大型船の入港を目指して係留施設整備としゅんせつを行い、8月に工事が完了。係留施設の総延長は110メートル拡大した240メートルとなり、3万トン級の大型船の入港が可能となった。9月に同港初の大型クルーズ船「にっぽん丸」が、続く10月には「ばしふいっくびいなす」が初入港。今後の熊本港クルーズ新時代の幕開けに期待が高まっている。



▲日本一周ツアーの中で寄港した「ばしふいっくびいなす」。午前8時半に入港し、午後4時20分まで停泊した

400人のツアー客を乗せた大型クルーズ船「にっぽん丸」（2万2472トン）が9月27日、鳥取県境港市の境港に向けて熊本港を出港した。クルーズ船の就航は熊本港初。ツアーは2泊3日の日程で出雲大社などを巡るもので、九州産交ツーリズム（熊本市中央区桜町）が企画した。船体は全長166.6メートル、全幅24メートル、定員は524人。熊本港での乗・下船という利便性や、リーズナブルな料金設定などで人気を集めた。同社では来年にもツアー第2弾を計画している。

熊本港は1993年に熊本の拠点港としてスタートしたが、大型船の誘致に関しては岸壁の延長や水深が足りずほかの港に遅れをとっていた。外国クルーズ船の寄港についても博多港が全国トップの85回、続いて長崎港の72回など九州勢が上位を占める中、熊本県は八代港の1回のみ（2012年九州運輸局統計）。クルーズツアーはシニア層からの人気が高まりつつあるという。

う状況からも、クルーズ船の誘致は港湾、観光関係者にとつての悲願。「にっぽん丸」の出港式典で、熊本港ポートセールス協議会長の幸山政史熊本市長は「熊本観光と経済の活性化につなげたい」とあいさつした。

10月18日には日本クルーズ客船（大阪市北区）が運航する「ばしふいっくびいなす」（2万6594トン）がツアー客400人を乗せて初寄港。横浜・神戸発着で14日から9泊10日の日本一周を実施する船で、熊本では阿蘇、人吉、熊本城などを訪れるオプションツアー4コースが用意された。船体は全長183.4メートル、全幅25メートル、定員は620人。ゲームコーナーやスポーツデッキなどの豪華な船内設備が特徴だ。ツアー客の平均年齢は72歳と、シニア層の人気を集めた。寄港式典では由良和久船長が「熊本港へは度々、寄港を計画したい」とも話しており、今後熊本港の利用促進に期待が高まる。

博多座11月公演

北島三郎 特別公演

伊那の勤太郎

信州ひとり旅

博多座 11月4日(月)~12月1日(日)

林与一 中田喜子

大好評!! 追加2公演限定

平成25年

11月25日(月) 【昼】12:00

11月27日(水) 【昼】12:00

西日本新聞創刊135周年記念 特別謝恩価格

西日本新聞広告社熊本感謝企画

【A席】 14,000円を 9,800円

※A席のみの販売です。(博多座ではA席が最上料金の席です。)
 ※差額は西日本新聞広告社熊本が負担いたします。

受付締切 11月12日(火) 座席の指定はできません。ご了承の上、ご注文ください。受付期間終了後の変更、キャンセルはできません。

■ご注文はハガキ、または電話・FAXでどうぞ。

ハガキに、住所・氏名・電話番号と注文枚数を明記の上、下記宛お送りください。(FAX注文も同じく明記)
 ※お預かりしました個人情報につきましては、チケット発送のために使用し、他には流用いたしません。

〒862-0975 熊本市中央区新屋敷1-5-1 西日本新聞広告社熊本内「博多座クラブ」係まで
 ☎096-372-7000 FAX096-372-7555 ●受付:平日午前9時~午後6時 ●担当:吉村